



岩澤町長・安藤副町長が退任されました

平成16年から4期16年にわたり町長として任期を務めた岩澤勝氏、平成25年4月から7年5か月間にわたり副町長として務めた安藤實氏が9月8日をもって退任されました。お二方ともに町政の発展に格別なるご尽力を賜りました。大変お疲れ様でした。

新町長就任の あいさつ

与えられる喜びから
与える喜びへの転換こそ
新時代令和の価値観



9月9日の初登庁



8月31日に行われた当選証書付与式

嵐山町長就任にあたり、一言ご挨拶申し上げます。岩澤前町長のご勇退のあとを受け、令和2年9月9日より第6代嵐山町長としてお世話になります佐久間孝光です。町民の皆さまには様々な機会の中でご指導いただきましたが、どうぞよろしく願います。

岩澤前町長は、4期16年間にわたり嵐山町政をリードされてこられました。その間、犯罪の発生数を大幅に減少させた嵐山パトロールセンター開設、学校給食センター開設、教育施設耐震化100%の達成、交流センター開設、PFI方式管理型浄化槽事業開始、ボランティアセンター開設、嵐山町ステーションプラザ「嵐なび」開設、子育て世代包括支援センター開設、千年の苑ラベンダー園開設等々を実現されてきました。その卓越した手腕に対し、心より敬意を表します。

さて、私は今後の町政運営において「人が宝のまちづくり」を基本理念として進めてまいります。全ての事業、政策は人が考え、人が人のために行うものだからです。また町内には多くの高い見識と人格を持たれている方々、専門知識や技術を持たれている方々、職員の中にも有能な方々がたくさんいます。大切なことは、皆さまで一人ひとりが使命感を持ち、自分の力を発揮していただくこと、私の役割は、発揮していただく環境を整えることだと認識しております。町民の皆さま、職員の方々と共に一人ひとりが輝く、さらに素晴らしい嵐山町実現のために邁進してまいりますので、どうぞご理解と協力よろしく願います。